

第3学年音楽科学習指導案

授業者 赤塚 温子

- 1 日時 平成16年10月5日(火) 第6校時
- 2 学級名 3年5組(男子17名、女子21名、計38名)
- 3 題材 『混声三部合唱の楽しみ』

4 題材について

(1) 題材について

学習指導要領には、第2・3学年のA表現の内容(1)エ「声部の役割を生かし、全体の響きに調和させて合唱や合奏をすること」と明示されている。また本題材は歌唱を扱うため、イ「曲種に応じた発声により、美しい言葉の表現を工夫して歌うこと」ともかかわってくる。『混声三部合唱の楽しみ』では、互いのパートとのかかわり合いを意識しながら美しいハーモニーや曲想に応じた表現を工夫することで、合唱の楽しさを味わうことをねらいとしている。

教材曲は文化祭で行われる校内合唱コンクールの自由曲として生徒たちが選んだ『予感』(作詞:片岡 輝 作曲:大熊崇子)であり、平成14年度NHK全国学校音楽コンクールにおいて中学校部門の課題曲として作曲された曲である。歌詞は悩みや不安の多い中学生の共感を得やすいものであること、使われている音域が無理のないものであることから、どのパートの生徒も意欲を持って取り組める。曲はA-B-A'の三部形式で、へ長調へ長調 ト長調となっており、終結部は力強く歌い上げられる。

(2) 生徒の実態

歌うことに抵抗を感じる生徒も見られるが、全体的にみると合唱に意欲的な学級である。『合唱することが好き』という生徒が約半数おり、強弱や曲想に関する記号に基づいて表現に生かそうと努力する様子も時折見られる。パート毎の活動や全体練習の中で「ここはフォルテだからもっと声を出そう」という思いは個々にもっていても、よりよい表現のための意見の交流はほとんど見られない。曲中に使われている強弱や曲想記号の意味の確認や歌詞の意味についての学習をし、それを意識して歌った時の効果を交流しあうことで学ぼうとする力を育てたいと考える。

(3) 指導の構想

本主題では、生徒たちが歌詞の意味を生かす表現を工夫することによる効果を交流し合い、その効果を実感することで合唱の楽しさを味わわせたい。それらの活動によって学ぼうとする力を育てたいと考える。そのため自分たちの演奏と他の模範となる演奏との比較によってより豊かな表現を目指させたい。自分たちの演奏について表現を工夫すべき箇所の改善方法について明確にし、パート練習によってその徹底を図りたい。その成果を全体で交流し、混声合唱の楽しさを味わわせたい。

5 題材の目標

- 【音楽への関心・意欲・態度】 歌詞の意味、歌詞の構成に関心を持ち、自己のイメージや感情を生かして歌唱表現することに意欲的である
- 【音楽的な感受や表現の工夫】 歌詞の意味、歌詞の構成に関心を持ち、自己のイメージや感情を生かして歌唱表現を工夫している
- 【表現の技能】 歌詞の意味、歌詞の構成を理解し、自己のイメージや感情を生かして歌唱表現をする技能を身に付けている

6 指導計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6時間(本時5時間目)

- (1) CDで曲全体の大まかなイメージを持ち、パートごとに旋律を覚える・・・・・・・・2時間
- (2) 全体で合唱し、わからない部分を確認し、理想の合唱に近づくための今後の課題を設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間
- (3) 歌詞の意味や語感を引き立てる河床表現の工夫をする・・・・・・・・2時間(本時は2/2)
- (4) 全体の構成や強弱記号などをもとによりよい表現をめざす・・・・・・・・1時間

7 本時について

(1) 本時の目標

【音楽的な感受や表現の工夫】 歌詞が引き立つ歌唱表現の工夫をすることができる。

(2) 研究主題にかかわる本時の指導の構想

・課題提示の工夫

前時の予告において、本時はその活動の継続であるということを示し、見通しをもって取り組ませたい。したがって前時までの学習過程がかなり重要である。

・学習過程の工夫

各パートの音取りが終わった後、自分たちの演奏を録音し、その分析を行う。その後、他の模範となる演奏の映像を見せ、そのよさや自分たちの演奏との違いに気づかせる。それを基に前時は、前半部分の表現の工夫に取り組む。取り組む箇所についてどうしたらよりよい表現ができるか全体で考えさせ、必要に応じて教師から助言をする。本時は後半部分に取り組むため、前時の活動を基に歌詞の意味を生かすための工夫をさせたい。

第3学年 音楽科 観点別評価規準一覧表

学習内容		音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫		表現の技能	
題材の観点別評価規準		歌詞の意味、歌詞の構成に関心をもち、自己のイメージや感情を生かして歌唱表現することに意欲的である	歌詞の意味、歌詞の構成に関心をもち、自己のイメージや感情を生かして歌唱表現を工夫している		歌詞の意味、歌詞の構成を理解し、自己のイメージや感情を生かして歌唱表現をする技能を身に付けている	
1 2	CDで曲全体の大まかなイメージを持ち、パートごとに旋律を覚える	具体的評価規準 CDで曲全体の大まかなイメージをもち、自分のパートの旋律を豊かな響きで歌おうとしている CDで曲全体の大まかなイメージをもち、自分のパートの旋律を覚えようとしている CDを集中して聴くことができず、自分のパートの旋律を覚えようとしていない	A	A	A	A
			B	B	B	B
			C	C	C	C
3	全体で合唱し、わからない部分を確認し、理想の合唱に近づくための今後の課題を設定する	具体的評価規準	A	A	A	A
			B	B	B	B
			C	C	C	C
4 5 本時	歌詞が引き立つ歌唱表現の工夫をすることができる	具体的評価規準	A	歌詞が引き立つ歌唱表現について、積極的に行っている	A	A
			B	歌詞が引き立つ歌唱表現について、工夫を試みている	B	B
			C	歌詞が引き立つ歌唱表現をしようとしていない	C	C
6	全体の構成や強弱記号などをもとによりよい表現をめざす	具体的評価規準	A	全体の構成や強弱記号を感じ取り、具体性を持って表現を工夫している	A	全体の構成や強弱記号を理解し、豊かな歌唱表現で周囲をリードすることができる
			B	全体の構成や強弱記号を感じ取り、表現を工夫している	B	全体の構成や強弱記号を理解し、豊かな歌唱表現をすることができる
			C	全体の構成や強弱記号を感じ取れず、表現を工夫しようとしていない	C	全体の構成や強弱記号を理解せず、豊かな歌唱表現をすることができない